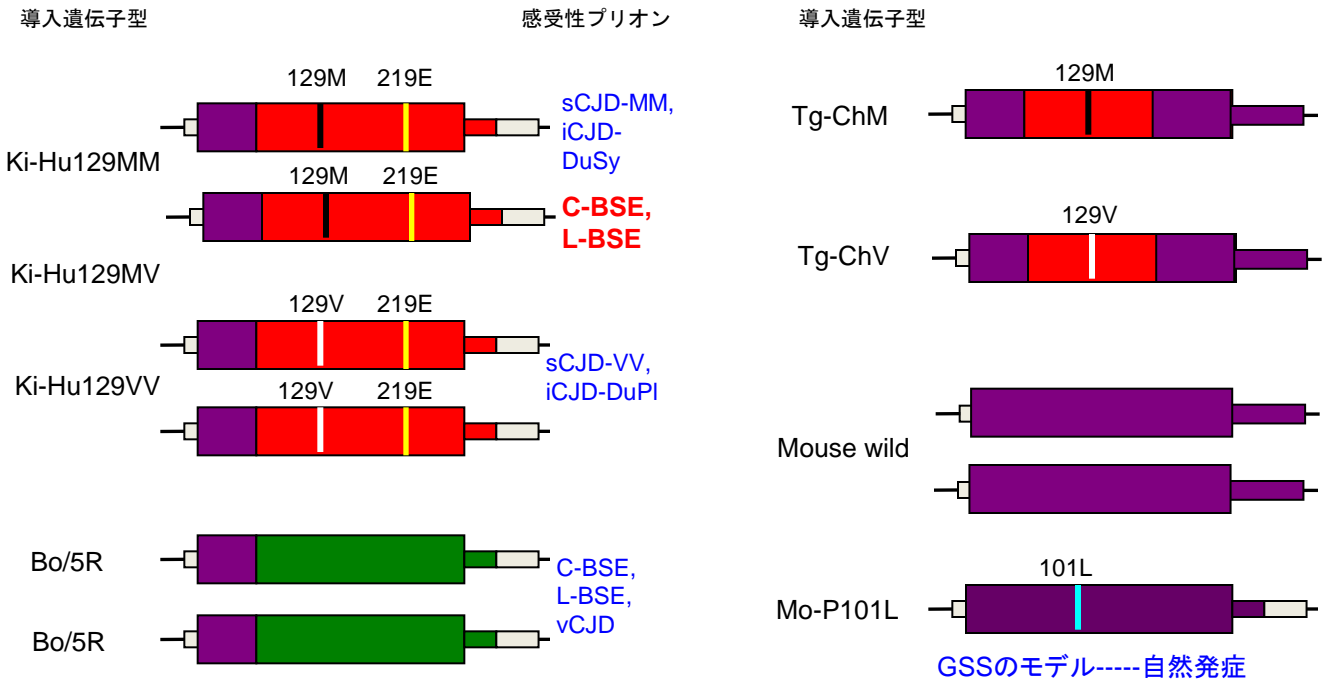


プリオン病モデル動物と伝達性

研究分担者: (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所 プリオン病研究センター
毛利 資 郎



モデルマウスの説明

ヒト型プリオンタンパク質遺伝子多型モデルマウス: Ki-Hu129MM(コドン129メチオニンのホモ)、Ki-Hu129MV(メチオニンとバリンのヘテロ)、Ki-Hu129VV(コドン129バリンのホモ)、
Bo/5R: ウシ型プリオンタンパク質遺伝子導入モデルマウス、
Mo-P101L: ヒトGSSモデルマウス、 Mouse Wild: マウス野生型プリオン蛋白質遺伝子

伝達プリオンの説明

sCJD-MM: 弧発性CJD-MM型由来プリオン、sCJD-VV: 弧発性CJD-VV型由来プリオン
iCJD-DuSy: 硬膜移植後CJDシナプス型由来プリオン、iCJD-DuPI: 硬膜移植後CJDプラーク型由来
vCJD: 変異型CJD由来プリオン、BSE: 牛海綿状脳症由来プリオン

解 説

1. 遺伝子改変モデルマウスを用いて、伝達性(感染性)とそのメカニズムの解明をめざして伝達試験を行っている。
2. 本年度はBSEのヒトへの伝達試験の結果、日本の非定型BSE(L-BSE)は従来型BSE(C-BSE)と同様にヒト化マウスへ伝達された。
3. 日本の非定型BSEも人への感染が起こりうることを示した。